

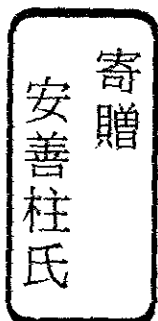
DA
2225
1001
112

筑波大学大学院文芸・言語研究科言語学専攻1999年度博士学位請求論文

現代日本語の条件表現の論理構造

安 善柱

935037



目次

第一章 序論	1
1 研究の目的	1
2 研究の対象	4
2.1 条件表現の分類	4
2.2 本研究の枠組み	5
3 論文の構成	8
第二章 先行研究と論理	10
1 先行研究	10
1.1 草薙 裕(1977)	10
1.2 坂原 茂(1985)	14
2 論理及び論理式	18
2.1 命題形式	18
2.1.1 選言	20
2.1.2 逆含意	21
2.1.3 含意	21
2.1.4 後件肯定	22
2.1.5 等値	22
2.1.6 連言	23
2.1.7 恒真式・恒偽式	23
2.2 推論形式	24
2.2.1 演繹推論	24
2.2.2 帰納推論	27
第三章 順接仮定条件	29

1 「～バ」形式	29
1.1 意味構造	29
1.1.1 文面の意味構造	30
1.1.2 基底の意味構造	33
1.2 論理構造	35
1.2.1 「(未知)バ(未知)」形式	35
1.3 「～バ」条件表現の解釈	40
2 「～ト」形式	47
2.1 意味構造	47
2.1.1 文面の意味構造	47
2.1.2 基底の意味構造	48
2.2 論理構造	49
2.2.1 「(未知)ト(未知)」形式	49
2.3 「～ト」条件表現の解釈	50
3 「～タラ」形式	51
3.1 意味構造	51
3.1.1 文面の意味構造	51
3.1.2 基底の意味構造	51
3.2 論理構造	52
3.2.1 「(未知)タラ(未知)」形式	52
3.3 「～タラ」条件表現の解釈	53
4 「～ナラ」形式	55
4.1 意味構造	55
4.1.1 文面の意味構造	55
4.1.2 基底の意味構造	56
4.2 論理構造	57
4.2.1 「(未知)ナラ(未知)」形式	57
4.3 「～ナラ」条件表現の解釈	59
5 「～テモ」形式	62
5.1 意味構造	62
5.1.1 文面の意味構造	63
5.1.2 基底の意味構造	63
5.2 論理構造	65

5.2.1 「(未知) テモ (未知)」形式	65
5.3 「～テモ」条件表現の解釈	69
6 二つの条件を持つ条件表現の論理構造	72
6.1 「pナラバrテモq」「rテモpナラバq」	73
6.2 「rカラpナラバq」「rカラpテモq」	76
7 本章のまとめ	78
第四章 順接確定条件	81
1 「～カラ」形式	82
1.1 意味構造	82
1.2 論理構造	90
1.2.1 「(既知) カラ (既知)」形式	92
1.2.1.1 文末が断定表現の場合	92
1.2.1.2 文末が推量表現の場合	95
1.2.2 「(既知) カラ (未知)」形式	98
1.2.2.1 「pナラバq」のpを推論する場合	98
1.2.2.2 「pナラバq」のqを推論する場合	101
1.2.3 「(未知) カラ (既知)」形式	103
2 「～バ」形式	106
2.1 意味構造	106
2.2 論理構造	108
2.2.1 「(既知) バ (未知)」形式	108
2.2.1.1 「pナラバq」のqを推論する場合	108
2.2.2 「(既知と逆の未知) バ (既知と逆の未知)」形式	111
3 「～タラ」形式	115
3.1 意味構造	115
3.2 論理構造	116
3.2.1 「(既知) タラ (未知)」形式	116
3.2.1.1 「pナラバq」のqを推論する場合	116
3.2.2 「(既知と逆の未知) タラ (既知と逆の未知)」形式	118
3.2.3 因果関係を持たない「～タラ」形式	119
4 「～ナラ」形式	123

4.1	意味構造	123
4.2	論理構造	123
4.2.1	「(既知と逆の未知) ナラ (既知と逆の未知)」形式	123
5	「 \sim テモ」形式	125
5.1	意味構造	125
5.2	論理構造	127
5.2.1	「(既知と逆の未知) テモ (既知と逆の未知)」形式	127
6	二つの条件を持つ条件表現の論理構造	130
6.1	「 r カラ p ナラバ q 」と「 p ナラバ r カラ q 」	130
7	本章のまとめ	135
第五章 逆接仮定条件		138
1	「 \sim テモ」形式	138
1.1	意味構造	138
1.2	論理構造	149
1.2.1	「(未知) テモ (未知)」形式	149
2	二つの条件を持つ条件表現の論理構造	155
2.1	「 r カラ p テモ $\sim q$ 」と「 p テモ r カラ $\sim q$ 」	155
2.2	「 r ナラバ p テモ $\sim q$ 」と「 p テモ r ナラバ $\sim q$ 」	159
3	本章のまとめ	161
第六章 逆接確定条件		162
1	「 \sim ノニ」形式	162
1.1	意味構造	163
1.2	論理構造	165
1.2.1	「(既知) ノニ (既知)」形式	165
2	「 \sim テモ」形式	170
2.1	意味構造	170
2.2	論理構造	171
2.2.1	「(既知) テモ (既知)」形式	171
3	「 \sim ノニ」と「 \sim テモ」の相違点—残された問題—	172

3.1	逆接確定条件「～ノニ」と順接仮定・逆接仮定条件「～テモ」	172
3.2	逆接確定条件「～ノニ」と逆接確定条件「～テモ」	179
4	二つの条件を持つ条件表現の論理構造	184
4.1	「pノニqカラr」	184
4.2	「pナラqダガ、r」	185
5	本章のまとめ	187
第七章 結論		188
参考文献		191
用例出典		195
謝辞		196